# 大容量 燃料ポンプ 取扱説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。 取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。 本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

	・ エスペル 突め も場合には、
商品名	大容量 燃料ポンプ <汎用 Type AL>
用途	自動車専用部品
コ — ド No.	14007-AK008
製品説明書品番	E23211-K00020-00 Ver. 3-3. 01
整備要領書品番	
メーカー車種	ミツビシ ランサーエボリューションⅧ~ⅨMR CT9A 他
エンジン型式	4G63 他
年 式	2001年2月~2007年9月 他
備考	<ul> <li>本説明書は、大容量フューエルポンプについて記載しています。 取付け例として、ミツビシランサーエボリューション区の図を使用します。</li> <li>・純正品に比べ燃料の吐出量が増加するので、充分なリターン経路が必要になります。アイドリング時に燃圧が上昇する場合は、別途に燃圧レギュレーターやリターン側配管が必要になります。</li> <li>・フューエルポンプに取付ける吸込みフィルターは、付属しません。</li> <li>・カプラーと端子の交換が必要になる場合が有ります。(付属)</li> </ul>

### 改訂の記録

	=									
改訂No.	日 付		記	載	変	更	内	容		
3-3.01	2013/2	初版								

#### はじめに

この度は、大容量燃料ポンプをお買い上げいただき誠にありがとうございます。 本書をよく読み、理解したうえで取付けを依頼してください。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用くださ

本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行なってください。 開封後は、必ず本体の破損、形状不良などがないか確認してください。

#### 製品の特徴

●大容量燃料ポンプはエンジンの高出力化を目的とし、クローズドサーキットで行なわれる競技で 使用を前提に開発されています。クローズドサーキットでのスポーツ走行などにおいて大変効果的

エンジンの出力向上には、水温・油温の上昇、油圧の不足が伴います。エンジンの性能維持のため走

エフラフの出力向工には、水温・油温の工弁、油圧の不足が付います。エフラフの性能維持のため足行時には各状況の確認をおすすめします。 行時には各状況の確認をおすすめします。 リー般公道での使用を目的とする場合は、改造申請の手続きが必要となる場合があります。 パーツの交換・取付け・チューニングのための加工等を行なった車両は、その内容により車両保安基 準に適合するか否か判断する必要があり、場合によっては改造申請の手続きが必要となります。 改造申請が必要な場合は、専門業者に確認のうえ手続きを行なってください。

#### 本書・本製品について

- ●本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために 守っていただきたい注意事項を記載しています。

- 守っていただきたい注意事項を記載しています。
  ◆本製品は自動車専用部品です。加工及び分解、改造、用途外の使用は行なわないでください。◆お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工及び分解、改造、用途外の使用により受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。◆本製品はノーマル車両及びHKS製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。ノーマル車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。◆本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。◆本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。●消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、専門業者又はお客様相談室にお問い合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・エンジン型式を注文先にお伝えください。コードNo. は、本書パーツリストに記載されています。

# 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。

警告

作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負うおそれがある場合



注意

作業者又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損)拡大物 損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発 された物的損害(例えば車両の破損及び焼損)

# 仕様

: インタンク式 純正置き換えタイプ : 最大径 φ38 : アダプター取付け時の長さ 121mm (吸入口~吐出口)

:吸入口外径  $\phi$ 11 / 吐出口外径  $\phi$ 9

1. 燃圧と吐出量の関係 (吐出量を保証するものではありません)

燃圧 [kPa]		300	350	400	450	500
吐出量	12 [V]	210	195	180	165	150
[L/h]	14 [V]	260	245	230	215	200

# パーツリスト

連番	コードNo.	品 名	数量	形状	備	考
1		フューエル ポンプ	1	0		
2		延長アダプター	1			
3		Oリング	1	0		
4		カラー	1	0		
5		配線カプラーセット(燃料ポンプ用)	1			
7	E23211-K0002 <mark>0</mark> -00	取扱説明書	1	10.000 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	本	書

# 取付方法

### 1. 作業を始める前に

パーツリストを参照し、現品に異品・欠品のないことを確認してください。 万が一、異品・欠品がある場合は、お手数ですがお買い上げの販売店にご連絡ください。

- (1)作業中に燃料が噴出し危険ですので、燃圧を解放する作業をおこなってください。
- (2) 燃料がタンクに残っている場合は、ポンプを取外す際に燃料がこぼれる恐れがあります。 燃料を抜取る等残量を減らしてから作業を行ってください。

#### 警告

●燃料を扱う作業のため、周囲に火気のある場所では作業を行なわないでください。またエンジンや排気管、触媒などが高温の場合も、作業を行わないでください。燃料流出防止作業を整備要領書に従い、確実に行なってください。確実に行なわれない場合は、燃料が流出して火災が起こるおそれがあります。
 ●ケーブルターミナルをバッテリのマイナス端子から取外して作業を行なってください。感電、又はショートによる車両破損が起きるおそれがあります。



#### お願い

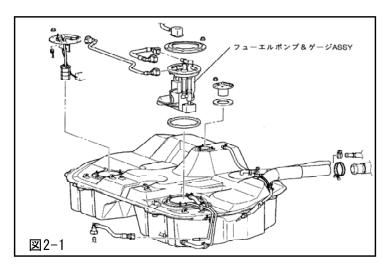
- ●漏れたガソリンが蒸発しますので、換気のよい場所で作業を行なってください。●性能を発揮する為には、インジェクターやレギュレーターの交換が必要になる場合もあります。

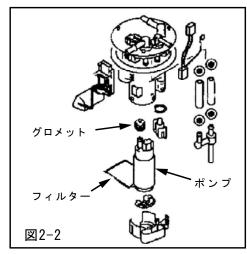
#### 2. ノーマルパーツの取外し

記載の無い部分については、メーカー発行の整備要領書に準じて作業を行なってください。

- (1)整備要領書に従い、フューエルポンプ(以下ポンプと表記)を交換する為に純正部品を取外して ください。
- (2) ポンプ上面の配線カプラーを切離してください。 フューエルラインを切離してください。 作業中にゴミが入らない様に対策してください。

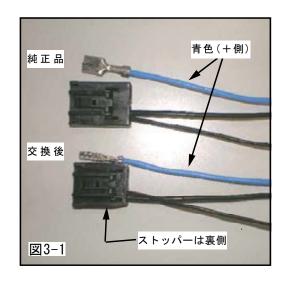
- アドバイス ・燃料が漏れ出しますので、受け皿などの対策をしてください。
- (3) 固定してるナットを外し、ポンプ&ゲージASSYをフューエルタンクから取外してください。 ポンプ内部に燃料が残っていますので、受け皿などで受け止めてください。 *〈図2-1〉*
- (4) ポンプASSYを分解して、純正ポンプと配線、フィルターを取外してください。 〈図2-2〉 配管、配線、フィルター等は再使用します。





#### 3. キットの取付け

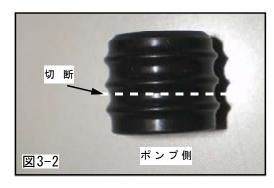
- (1) ポンプ配線を取外し、配線をポンプ側カプラーの近くで切断してください。 〈図3-1〉(P5×1)
   ・付属の端子を配線にカシメて止めてください。 配が抜けたり、カシメが緩くない事を確認し
  - にはかなりたり、カングが優くない事を確認してください。 ・端子をカプラーに差し込み、抜けない事を確認してください。
  - ・配線の色が純正品と同じ位置に取り付けられている事を確認して下さい。 ・ストッパーを押し込んで平らにしてください。
- (2) 純正フィルターをポンプの吸込み口に取付け、奥まで押込んでください。 抜止めクリップを取付けてください。



- (3) 純正ポンプ吐出口から外したグロメットを、ポンプ側より数えて1つ目の溝で切断してください。 〈図3-2〉
- (4) ポンプの吐出口に、カラーとOリングを組付けて下さい。  $\langle \textit{203-3} \rangle$  (P3×1, P4×1) 延長アダプターと切断したグロメットをポンプに取付けてください。(P2×1)

#### アドバイス

- ・シリコングリスをOリングとグロメットの外周に 塗布してください。
- (5) ポンプAssyをケースに押し込み、クッションと一緒にブラケットで固定してください。 抜け止めの爪が確実に作用している事を確認してください。
- (6)分解した時の逆手順で確実に組み立ててください。 組立て後にゲージ可動部がスムーズに動く事を確 認してください。〈図2-2〉
- (7) フューエルタンクの取付け面にゴミが無い事を確認して、ポンプAssyを取付けてください。 ポンプAssy、ガスケット、アッパープレートの切欠きや突起を合わせて組付け、ナットを対角の順に数回に分けて締めてください。 〈図2-1〉
- (8) フューエルラインを確実に取付けてください。 配線のカプラーを取付けてください。
- (9) 次項の確認をした後に、作業で取外した部品を元通りに取付けてください。





## 4. 取付け後の確認

- (1) 燃料配管が正しく取付けられているかを確認してください。
- (2) 燃料配管に問題が無い事を確認して、バッテリを接続してください。
- (3) キースイッチをONにして、燃料配管に燃圧をかけ、配管各部に燃料の漏れが無いことを確認してください。これを数回繰り返してください。
- (4) 燃料の漏れが無い事を確認した後、エンジンを始動してください。 停止後に再度漏れが無いことを確認してください。
- (5) ポンプの交換により燃料の噴射量が変わる事があるので、必ずセッティングを行ってください。

株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192 静岡県 富士宮市 北山 7 1 8 1 http://www.hks-power.co.jp/